



事務事業名	県民交通災害共済事業	事務事業No.	30301000705	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 高度経済成長に伴い、昭和30年代後半から自動車の交通量が急速に増大し、交通事故が増加したため、その被害者の救済措置として始まった。昭和43年の「茨城県県民交通災害共済組合」発足以来事業を開始し、現在に至っている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 加入者が年々減少しているにもかかわらず、見舞金給付額が増えていることから組合で制度の見直しを検討している。当市でも加入者は減少しているが、窓口に来た市民からは「これに入ると安心。お守り代わり」という声も聞かれる。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民が安心して過ごせるためには、万が一の交通事故に備えた保証が必要である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県市町村事務組合から委任され、県内全市町村で委任を受けている事業であり、共済加入方法が住民登録している市町村窓口のみであるため、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 市内の人口減少及び類似の保障が充実した民間保険の進出により、加入者の増加は期待できない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 民間の保険より安価な掛金で、交通事故災害見舞金を給付しているため、頼りにしている市民がいる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 茨城県市町村事務組合が行っている事業のため、連携や統廃合の余地はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 費用はシステム使用料と各庁舎での事務手続きの人件費のみのため、削減することは難しい。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内に住民登録している市民を対象としていることから、公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)															
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	加入者数が年々減っているため、加入推進のチラシの全戸配布や窓口でのチラシ配架を行い、県民交通災害共済の周知を行った。また、加入者への見舞金の給付を5件行った。一般的な生命保険と混同している市民も多く、家庭内でのケガも見舞金の請求ができるのかという問い合わせもあるため、申し込みの際にはより丁寧な説明が必要である。														
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下				
成果	向上		削減	維持	増加										
	維持		○												
低下															
(6) 事務事業優先度評価結果															
成果優先度評価結果	②														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>